



渋滞の解消と沖縄観光

おきなわFB短信(8)
(1分間で読めます。)

平成21年2月24日(火)

去年の10月から約4ヶ月、琉球大学で「観光業界の経営分析」という講座を毎週月曜日の8時30分から14回受持った。

そして、学生との課題のやり取りの中でいろいろと勉強になった。

落合さんは、愛知県出身で沖縄に来て最初に思ったことは渋滞が多いということだと言っている。彼の言うように、この渋滞の解消ができれば沖縄観光の課題の多くが解消、沖縄観光事業の発展ができるのではないかと思う。観光消費、リピーター、観光満足度、観光投資効率...

確かに、1,000万人観光という提言が行政からなされているが、空港ターミナル、道路、観光スポット、レストラン...などの混雑の解消に対して、計画的で、十分な努力がなされているとは言い難い。沖縄観光という観点から、特に道路の渋滞を解決して投資効率の良い1,000万人観光客をお迎えする努力をすることが沖縄経済発展のための重要なキーポイントであると思われる。

先日乗ったタクシーの運転手さんが沖縄の道路の渋滞の原因は(1)道路行政のまずさと(2)沖縄の自家用車の稼働率の高さであると言う。(2)について彼に言わせると、内地に住む息子さんは車を持っているが、1ヶ月に2~3回しか乗らないという。生活は自転車と電車がほとんどすべてで、もったいない話だがこれだと道路の混み方も大したことはなからうという。それに比べて沖縄の自家用車はタクシー並みの走行率だから、道路が車で渋滞するのは当然だと言う。それを十分に理解していないのが道路行政だと言う。その例を色々あげていたが、それは差し置いて...

明日、パレット久茂地で開催される「交通円滑化シンポジウム」 那覇都市圏の渋滞問題を考える に出掛けて行って問題を考えてみたい。